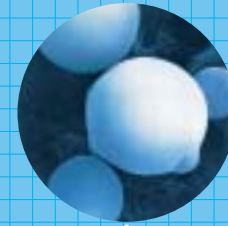


Asahi わたしたちの“今”を皆様にお伝えします
Asahi Super Report
アサヒスーパーレポート
 第80期中間事業報告書 平成15年1月1日～平成15年6月30日

「アサヒ本生 アクアブルー」
 新発売



ビール酵母の
 機能性研究の成果を
 学会発表

「夏休み親子
 見学ツアー」開催

「グリーン北京工場」の
 建設に着手

自然環境功労者
 環境大臣賞を受賞

株主優待制度新設に関するお知らせ ~詳しくは裏表紙をご覧ください



この半年の取り組み	2	アサヒビールグループ業績のご報告	16
ごあいさつ	3	連結財務諸表	18
アサヒNews Flash	4	単体財務諸表	20
新商品トピックス	8	株主メモ	21
社長インタビュー	10	会社概要/株式の状況	22
噂のCM大解剖! / ホームページのご案内	13	キャンペーン&イベント情報	23
なるほどtheアサヒビール	14	株主の皆様へお知らせ	裏表紙

この半年の取り組み

Half Year Summary

- 1月**
- 8日 ● アサヒビール2003年酒類事業方針発表
 - 10日 ● 「アサヒ本生 発売3年目 大感謝キャンペーン」応募開始（～2月28日）
 - 29日 ● 「アサヒ穂三昧」新発売



- 2月**
- 17日 ● 「かのか」“飲むの時間（よろこびのとき）プレゼント”キャンペーン開始
 - 19日 ● 「アサヒスパークス」新発売
 - 26日 ● 「アサヒ旬果搾り もも」新発売



- 3月**
- 5日 ● 「カクテルパートナー ライチグレープフルーツ」新発売
（写真は新パッケージ）
 - 12日 ● 「カリテラ カルメネール」「カリテラ アルボレダ カルメネール」新発売
 - 13日 ● 「アサヒビール芸術賞」の第1回授賞式開催
 - 25日 ● アサヒ本生・アサヒスパークス「3億円も夢じゃないキャンペーン」応募受付開始



- 4月**
- 1日 ● ホップ・ポリフェノール学会発表（1日～3日）
 - 21日 ● 北京ビール会社の新工場「グリーン北京工場」建設着工
 - 29日 ● ニッカウヰスキー（株）北海道工場が自然環境功労者環境大臣賞を受賞

- 5月**
- 9日 ● 「アサヒ本生 アクアブルー」発表
 - 14日 ● オリオンビール（株）で「アサヒスーパードライ」「アサヒスパークス」のライセンス生産品出荷開始
 - 17日 ● ビール酵母の機能性研究の成果を学会発表（17日～19日）
 - 17日 ● 「シミシファーガの抗ストレス作用」の学会発表（17日～19日）
 - 21日 ● 「ニッカシールド スイート」「ニッカシールドドライ」「アサヒ梅ワイン」新発売
 - 24日 ● 「MTV THE SUPER DRY LIVE 2003」開催



- 6月**
- 4日 ● 「カクテルパートナー」の季節限定商品「ハワイアンビューティ」「カリビアンブリーズ」「モヒートレモン」新発売



- 11日 ● お中元ギフトセット「アサヒ サマーギフト 2003」を発売
- 14日 ● 「アサヒ・アート・フェスティバル2003」開催（～7月13日）
- 14日 ● 「わたしのお宝交換プロジェクト」展開催（～7月13日）
- 25日 ● 「ブラック・クリアブレンド ハイボール」新発売
- 25日 ● 「ベン・ネヴィス シングルモルト 10年」など、シングルモルト・スコッチウイスキー3商品を発売



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりアサヒビールグループに格別のご高配を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

現在、アサヒビールグループは「総合酒類事業の基盤強化」を図るとともに、飲料事業、食品・薬品事業、国際事業のグループ経営強化に全力で取り組み、グループ競争力の向上とグループ全体の成長、そして企業価値の向上を図っております。

また今般、当社は「単元株式数の変更（1,000株を100株へ引下げ）」、および株主様から多くのご要望を頂戴しておりました「株主優待制度の新設」を取締役会で決議いたしました。これにより現在の株主様のご支援にお応えするとともに、今後もより多くの方にアサヒビールをご支援いただけるよう努めてまいります。

アサヒビールグループは、これからも「食」と「健康」をテーマに、人々の楽しく・心豊かな生活文化の創造に挑戦してまいります。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援・ご声援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2003年9月



アサヒビール株式会社
代表取締役会長

福地 茂雄

代表取締役社長

池田 弘一

アサヒ News Flash

「健康で豊かな社会の実現に貢献する」
この経営理念のもと、アサヒビールグループは、
さまざまな活動を行っています。

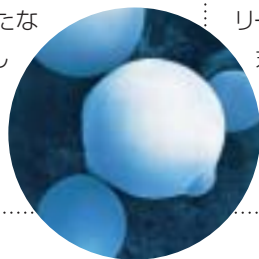
研究開発

「ホップ・ポリフェノール」が病原性大腸菌 O-157 のペロ毒素を中和・無毒化

アサヒビール(株)R&D本部では、ビール原料のひとつであるホップから抽出される天然素材「ホップ・ポリフェノール」の機能性研究を行っています。その一環として実施していた千葉大学大学院医学研究院・野田公俊教授グループとの共同研究を通じて、病原性大腸菌O-157のペロ毒素の毒性を強力に中和・無害化する効果を有することが確認できました。アサヒビールグループでは、こうした天然素材の機能性研究、応用研究を新たな製品提案につなげ、「食」を通じたお客様の健康増進に寄与していきます。

ビール酵母の機能性研究の成果を学会発表

アサヒビール(株)R&D本部未来技術研究所は、本年5月に開催された第57回日本栄養・食糧学会総会において、「乾燥ビール酵母による肥満予防効果」、「酵母マンナンの抗アレルギー作用」、「酵母マンナンのミネラル吸収促進作用」というビール酵母の新たな機能についての研究成果を発表しました。今後もビール酵母の特性を活かして、薬品や食品の素材開発に取り組めます。



食品原料用ハーブ「シミシフーガ」の抗ストレス効果を確認

アサヒビール(株)R&D本部は、北米産のキンポウゲ科の多年生草木である「シミシフーガ」に抗ストレス効果があることを確認しました。さらに東京薬科大学薬学部・指田豊教授グループとの共同研究により、シミシフーガの抗ストレス成分を「アクテイン」と特定しました。今後、抗ストレス効果のメカニズムの解析と実用化研究を進め、



「ストレスを緩和させる」という画期的な機能性食品への応用・開発を目指します。

シミシフーガとは？

北米インディアンが、その根茎を痛み止めや更年期治療に使用してきたとされています。科学的には、ヨーロッパでの臨床試験で更年期障害改善効果が認められており、また欧米ではシミシフーガ・エキスがサプリメントとして販売されています。

「高感度消費者」に関する書籍を発刊

アサヒビール(株)お客様生活文化研究所は、「高感度消費者」に関する研究成果をまとめた『「って感じ。」71の高感度指標でわかる流行るコト・売れるモノ』を東急エージェンシー出版部から発刊しました。

同書は、「高感度消費者」の消費動向や購買決定動機を探った最前線レポートと、次世代のオピニオンリーダーへのインタビューで構成されています。また巻末には、1年にわたる研究の調査概要をまとめました。お客様生活文化研究所で得られる研究成果を大いに活かし、より一層の顧客満足を追求していきます。



環境活動

ニッカウヰスキー(株)北海道工場が自然環境功労者環境大臣賞を受賞



本年4月29日、みどりの日にちなんで行われた自然環境功労者環境大臣表彰において、ニッカウヰスキー(株)北海道工場が「いきもの環境づくり・みどり部門」で自然環境功労者環境大臣賞を受賞しました。操業開始以来、従業員自らの手で植栽による工場緑化・整備に努めたことにより、野鳥や草花の生育環境を創出したことが評価されたものです。これを励みに、今後もグループを挙げて一層の環境保全に努めていきます。

最新鋭の「グリーン北京工場」の建設に着手

本年4月、北京市郊外の懷柔区にて北京啤酒朝日有限公司(北京ビール[※])の新工場建設に着手しました。建設する新工場は、2008年のオリンピック開催に向けて北京市が推進する環境保護・環境整備の取り組みに沿って、アサヒビール(株)の環境保全技術を取り入れた環境保全型とし、最先端の生ビール(非熱処理ビール)製造技術を導入した最新鋭の「グリーン北京工場」です。北京市周辺の発展に伴ってビール需要の拡大が期待される中、その需要に応えるとともに、新工場建設を契機として中国での事業拡大を図っていきます。

[※]アサヒビール(株)が伊藤忠商事(株)と共同で株式の過半数を保有しています。



「アサヒビール環境大賞」を創設

アサヒビール社員を対象にした「環境啓発」および「優秀事例の水平展開」の推進を目的に、「アサヒビール環境大賞」を創設しました。身の回りの環境に関するさまざまな角度からの優秀な提案を表彰する「提案賞」と、環境負荷軽減に結びつく効果的な活動を表彰する「活動賞」を設けています。

事務局から 環境社会貢献部 牧野なおみ



環境保全の取り組みにおいて、社会からの信頼を得られる企業となるためには、完全ノンフロン化などの工場での取り組みだけではなく、それに加えて、①地に足がついた全社的で着実な取り組みを進めること、②環境先進企業として、アサヒビールらしいオリジナリティある取り組みをもっと強化することが重要と考え、社内にこの賞を創設しました。

業務提携

オリオンビール(株)と連携して沖縄県内での生産・販売体制を強化

昨年8月に業務提携したオリオンビール(株)の名護工場にて、本年5月から「アサヒスーパードライ」「アサヒスパークス」のライセンス生産を開始しています。これにより、沖縄県の皆様に対してこれまで以上に新鮮なビール・発泡酒をお届けすることが可能になりました。今回の両社の取り組みは、酒類事業における包括的な業務提携関係を一層進展させ、沖縄ならびに全国における、両社双方の競争力を強化させるものです。



社会貢献

「キッズ プロジェクト in 福岡」開催



「施設でさみしい思いをしている子供たちに楽しい思い出を作ってあげよう」「施設以外でなかなか大人と接する機会のない子供たちに社会性を身につけてもらおう」という思いから始まった社内ボランティア活動「キッズ プロジェクト」を6月4日に福岡で開催しました。参加した社員は、森林浴の楽しめる新しいスタイルの動物園「到津(いとづ)の森公園」で子供たちとふれあい、同じ時間を共有しました。

和歌山県太地町で「イルカセラピー」開催

イルカとのふれあいを通して、阪神・淡路大震災に被災した子供たちの心を癒すことを目的に平成11年から開催している「イルカセラピー」。本年は8月に「和歌山県太地町立くじらの博物館」で社員と子供たちが交流しました。社員ボランティアと一緒に、美しい海から昇る朝日を見たり、磯遊び・バーベキューをしたりと子供たちの思い出の日となりました。(写真は今年の「イルカセラピー」)



リサイクルをテーマにした「夏休み親子見学ツアー」を開催

夏休み中の小学生を対象としたビール工場見学ツアー「夏休み親子見学ツアー」を、7月から8月にかけて全国9工場で開催しました。本年は「リサイクル」をテーマとし、夏休みの自由研究に役立つアトラクションを体験する中で、楽しみながらリサイクルの大切さを勉強していただきました。

(写真は、福島工場での牛乳パックと麦芽の殻皮を使った「紙すき体験」の様子)



原材料調達先の選定基準に「社会的責任」を導入

アサヒビール(株)は、社内の「原材料購買基本方針」に「企業の社会的責任(CSR)※」に関する項目を盛り込みました。今後国内外の取引先に対して、法令遵守や人権への配慮などに関する定期的なアンケートや現地調査を実施していきます。自社のみならず取引先も含めて社会的責任への対応を徹底することで、ブランド価値の維持向上と経営リスク管理体制の確立を目指します。

企業の社会的責任(CSR: Corporate Social Responsibility)とは? 従来は製品やサービスの提供、雇用の創出、税金の納付、メセナ活動などを対象としていましたが、時代とともに移り変わり、近年では積極的な情報開示、環境への配慮、社会活動への関与などまで拡大しています。

文化・スポーツ支援

「アサヒ・アート・フェスティバル2003」開催

アサヒビールのメセナ活動の集大成となる市民参加型のイベントとして、昨年に続き本年も、「アサヒ・アート・フェスティバル2003」

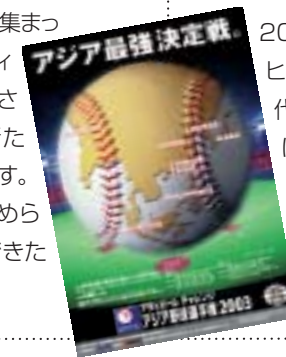


を6月14日から1カ月間にわたり開催しました。アサヒビール本社周辺地区を中心に全国各地で多数の芸術系NPOや気鋭の若手アーティスト、市民とともに多彩なアートイベントを展開。参加者、来場者ともにアートとのふれあいを楽しんでいただきました。

「わたしのお宝交換プロジェクト」展を開催

(財)アサヒビール芸術文化財団は、2000年から実施している美術展シリーズ「アサヒ・アート・コラボレーション」の第4弾として、本年は「わたしのお宝交換プロジェクト」展を開催しました。

これは、一般募集により集まったユニークな「お宝」を新進気鋭のアーティスト6名がアート作品に変身させ、それをさらに他の人と交換し、「お宝」を介した新たな出会いを作り出そうとするプロジェクトです。今回のプロジェクトにより、「お宝」に込められた思い出や価値を参加者の中で共有できたものと考えています。



ジャンルや形態を問わず、社員が選考する「アサヒビール芸術賞」を創設

(財)アサヒビール芸術文化財団は、芸術文化支援の一環として「アサヒビール芸術賞」を創設しました。一般市民の視点から斬新な芸術活動を発掘・支援するという考えのもと、アサヒビール社員が選考に参加。芸術の専門家である推薦委員が挙げた候補対象を半年間にわたって視察し、第1回の授賞者を決定しました。授賞後もアサヒビール社員がその活動を見守り応援していきます。

第1回授賞者 ●野村誠とその仲間たち ●愛知県文化情報センター ●特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち ●内藤礼

「MTV THE SUPER DRY LIVE 2003」今年も大盛況

「アサヒスーパードライ」の「挑戦」という訴求テーマに沿って若者の音楽文化を応援する夢のライブイベント。“多くの音楽ファンの願いをかなえたい”という思いから本年も5月24日に開催し、大盛況となりました。来年の開催も決定するなど、またひとつ新たな夢が実現しています。



「アジア野球選手権2003」に特別協賛

2001年から、野球日本代表を応援してきたアサヒビールグループは、アテネオリンピックアジア代表予選を兼ねた「アジア野球選手権2003」に特別協賛します。本年10月31日から札幌ドームで開催される同大会に協賛することで、「夢・勇気・元気・感動」をお客様と共有し、企業姿勢である「クオリティ&チャレンジ」をお伝えしていきます。

すべては、お客さまの「うまい!」のために。

「アサヒ本生 アクアブルー」を新発売

本年7月16日に新発売した“おいしい糖質50%オフ*の発泡酒”です。「健康」に関心を持つお客様にご満足いただける“おいしさ”を実現しました。



また、「アサヒ本生」で使用している“海洋深層水”や“大麦エキス”に加え、ミネラルなどの旨味成分を含んだ“海藻エキス”を使用することで、本生ブランドならではの「生」のうまさ、スムーズで滑らかな飲み口を実現しています。ネーミングとパッケージデザインは「青い海」をイメージさせる鮮やかなブルー。赤い「アサヒ本生」とあわせて、発泡酒市場におけるブランド力の強化を図ります。

※5訂日本食品成分表による

缶350ml/145円 缶500ml/201円

「アサヒ本生 アクアブルー」ブランドマネージャー

堀米 研史

お客様に、「なんとなくおいしい」ではなく「明確においしい」と感じていただける味を目標に、試行錯誤の末によりやく完成した商品です。



シングルモルト・スコッチウイスキーのラインアップを拡充

シングルモルト・スコッチウイスキー3商品「ベン・ネヴィス シングルモルト10年」「ブナハーブ12年」「タムデュー」の販売を6月25日から全国で開始しました。これにより、日英あわせて7蒸溜所のシングルモルトをラインアップすることとなり、蒸溜所ごとの個性をお楽しみいただく幅が一層広がります。

「ベン・ネヴィス シングルモルト10年」700ml/5,000円



チリワイン「カリテラ」に“カルメネール”追加



チリ独自の稀少なぶどう品種として世界で注目を集めている“カルメネール”の2品種をラインアップに加えました。「カリテラ カルメネール」(赤・中重口)は家庭用ワインとして最適です。また、「カリテラ アルボレダ カルメネール」(赤・重口)はプレミアムワインとしてレストラン、ワイン専門店を中心にご提案していきます。

「カリテラ カルメネール」750ml/1,100円

「ブラック・クリアブレンドハイボール」新発売

クセのないクリアな味わいが好評のウイスキー「ブラックニッカ クリアブレンド」をベースに無糖ソーダで割った“ハイボール”です。バーや居酒屋で楽しまれているスタンダードカクテルを、幅広い世代にご提案していきます。

缶250ml/150円



「スーパーニッカ“和味(なごみ)”」首都圏限定で新発売

ウイスキー「スーパーニッカ」の発売40周年を記念した新商品です。「スーパーニッカ」の味わいをベースに、現代的な感性で“和やか”な飲み口に仕上げたブレンドウイスキーです。

700ml/2,000円



「アサヒ梅ワインドライ」新発売

国産梅100%を使用した「アサヒ梅ワイン」の新アイテムです。甘さを抑えた中辛口タイプで、料理の味わいを引き立てます。ご家庭での食事や和食店などの飲食店向けにご提案していきます。

300ml/404円



リンゴ100%の果実酒「ニッカシードル」ブランドを全面的に刷新

味わいやラベルをリニューアルした「ニッカシードル スイート」「ニッカシードル ドライ」を新発売しました。拡大・多様化している低アルコール市場において、糖分・香料・着色料を一切加えない「リンゴ100%の果実酒」という商品特性を一層際立たせ訴求していきます。

「ニッカシードル スイート」200ml/196円
「ニッカシードル ドライ」200ml/196円



アサヒ飲料(株) FAUCHONブランドの紅茶商品を新発売

世界屈指の高級食材店「FAUCHON」(フォーション:フランス)と日本国内での紅茶飲料に関する独占的ライセンス契約を締結*。共同開発商品として「フォーション ティー・オ・レ」を5月に新発売しました。“片手で飲めるカフェの上質”をコンセプトに、FAUCHONブランドを最大限に活用してプレミアム紅茶市場の創出を目指します。

※アサヒ飲料(株)とFAUCHONとの契約

200ml/140円



アサヒ飲料(株) 「C'S CASE(シーズケース)スカッシュ」を新発売

ロングセラーブランド「C'S CASE」は、アサヒフードアンドヘルスケア(株)がタブレットやキャンディー、飲料などにわたって展開しており、10代を中心に高い認知度を得ています。アサヒ飲料(株)は、こうしたブランド資産を活用して、マルチビタミン炭酸飲料「C'S CASE スカッシュ」を新発売しました。手軽にビタミン補給できる炭酸飲料という商品特長を継承するとともに、他の「C'S CASE」ブランド商品との相乗効果を図ります。

PET500ml/140円



アサヒフードアンドヘルスケア(株) 「アクティオ アガリクス茸」を新発売

男性長寿日本一の岐阜県和良村*で、良質な水と澄んだ空気を利用して丁寧に栽培された高品質なアガリクス茸を乾燥し、粉末にした無添加食品です。大量生産などでは決して真似できない触感、におい、色などの育成具合を見極める“プロの職人技”が詰まっています。水やお湯とともにお召し上がりいただくほか、お茶に溶かしたり、お好みのお料理に加えてお楽しみいただけます。

※出典:厚生労働省発表「2000年全国市町村別平均寿命」

男性平均寿命 90g(1,500mg×60袋)/28,000円



表示されている価格はすべて希望小売価格(消費税別)です。

「強いブランド」の育成と「総合酒類化」を推進。 安定した収益をもとに、グループの成長を加速します。

代表取締役社長 池田 弘一



Q ビール・発泡酒の上期の状況と下期の取り組みについて聞かせてください。

当社は本年、「ビール・発泡酒の地位磐石化」と「総合酒類の基盤づくり」を目標にさまざまな取り組みを進めています。上期のビール・発泡酒市場は、景気の低迷等による業務用消費の冷え込みや発泡酒の

増税などが影響し、業界全体の課税数量は大幅に前年を下回る状況となりました。その中で当社も売上数量ではマイナスでしたが、シェア※では39.3%と過去最高となり、2年連続でトップを獲得しました。

また、本年7月に発売しました「アサヒ本生 アクアブルー」が、順調なスタートを切っています。下期は、この「アサヒ本生 アクアブルー」を含めた「アサヒ本生」ブランドの強化と、「アサヒスーパードライ」の着実なシェ

アアップを果たし、ビール・発泡酒の地位磐石化を進めていきます。

※平成15年1～6月大手ビール5社における課税数量に基づく。

Q 総合酒類に関する上期の状況と下期の取り組みについて聞かせてください。

総合酒類の基盤確立のために、焼酎・洋酒・低アルコール飲料・ワインの各カテゴリで中核となるブランドの強化や、酒類業界最大級の販売体制の活用を通じて、さまざまな取り組みを行いました。その結果、上期のビール・発泡酒以外の酒類合計では、前年の2倍以上の売上を達成しました。特に低アルコール飲料では、「カクテルパートナー」※1が4倍以上、「旬果搾り」※2が2倍近い売上を達成し、確実にM&Aによる統合効果が現れてきています。焼酎の主力商品「大五郎」※1も17%増加し、市場での存在

感を高めています。

下期は、低アルコール飲料では「カクテルパートナー トムコリンズ」、「旬果搾り りんご」の新発売、ワインではオーストラリアの新ブランド「KIRRALAA(キララ)」の発売、焼酎では「大五郎」のリニューアルや「かのか」のキャンペーンなどを行い、総合酒類でのさらなる売上の拡大を目指します。

※1 協和発酵工業(株)による前年1～6月売上実績との比較。

※2 旭化成(株)による前年1～6月売上実績との比較。

Q グループ事業強化の取り組みについて教えてください。

市場環境が変化する中、当社グループは収益性の改善や安定した増収増益路線の構築に向けて、さまざまな基盤の整備を進めています。

飲料事業については、昨年秋以降「ワンダモーニングショット」のヒットや「十六茶」のリニューアル成功により、アサヒ飲料(株)の売上が好転・増加傾向となり、

さらなる飛躍が期待できる状況に回復してきました。

食品・薬品事業においては、昨年のアサヒフードアンドヘルスケア(株)の設立、本年1月のポーラフーズ(株)の統合により、売上は大幅に拡大しており、業界内での地位向上が着実に進展しています。

海外事業については、その中核である中国でのビー

ル事業において、最新鋭の新工場を北京市郊外に建設し、生産性を向上させるとともに高品質のビールを製造することで市場での競争力を高めていきます。

今後もグループ全体の成長と競争力の強化に向け、成長分野への投資、財務体質の強化、資本効率の向上を図っていく予定です。

最後に、株主の皆様へ一言お願いします。

近年、個人の資産運用の選択肢が多様化しており、株式投資に関心を持たれる投資層が広がっているようです。当社も株主重視の経営を実践していく中で、個人投資家の皆様にとってアサヒビールが一層身近な存在になるよう、さまざまな取り組みを行ってまいります。

まずは、9月1日から単元株数を1,000株から100株

に変更し、買い増しや新規保有をしていただきやすくなりました。

また、多くの株主の皆様からご要望を頂戴しておりました株主優待制度も明年から導入します。

今後も、株主の皆様のご期待にお応えするとともに、当社ならびにグループ各社をご理解・ご支援いただけるよう努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。



噂のCM大解剖! アサヒスーパードライ「レインボー・ハンティング」篇



「洗練されたクリアな味、辛口」というコンセプトを訴求するアサヒスーパードライのテレビコマーシャル。今秋からはハワイ・カウアイ島を舞台に、「光と水の奇跡」と呼ばれる世界一の虹「ダブル・レインボー」をテーマにした新シリーズが放映されています。

——「ダブル・レインボー」を追い求めて馬を駆り、ハワイの険しい大自然に分け入る男たち。山頂で念願の虹と対面し、ガッツポーズ。彼らの満たされた気持ちには、「アサヒ スーパードライ」——。撮影は8月上旬に行われました。現場は夏でも気温が低く、容赦なく降り続く雨の中、スタッフはその「瞬間」を待ちました。一陣の風がにわか雨雲を吹き払い、見る間に渓谷が晴れ渡る。その瞬間、眼前には大きな二重の虹が! 夢中でカメラを回すスタッフ。出演者同様、一同は拳を天に突き上げて歓びを分かち合いました。

ホームページのご案内 www.asahibeer.co.jp



アサヒビールのホームページを、本年7月にリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは、情報に優先順位をつけ、トップページに掲載する情報を絞り込むことで「見やすさ」を追求しました。また、トップページの他にも、お客様に興味を持ってアサヒビールグループ内の多くのサイトをお楽しみいただけるよう、コンテンツの見せ方、移動のしやすさに配慮しました。さまざまな側面から「最新のアサヒビール」を紹介するホームページを、ぜひご活用ください。

アサヒボイスパーク ASAHI VOICE PARK

お客様の求める「うまい!」を実現するため、お客様のご意見を募るコーナーです。アサヒビール商品をテーマに、多くのお客様から「コレはいい!」「私はこう思う」といった率直なご意見を投稿いただくとともに、開発担当者が随時、商品に関する情報提供や質問への回答を行っています。いただいたご意見は今後の商品開発、商品改良に役立てていきます。





皆様の素朴な質問にお答えするとともに、アサヒビールの歴史をご紹介します。

Q アサヒビールが販売しているプロ野球チームのデザイン缶は?

阪神タイガース、横浜ベイスターズ、大阪近鉄バファローズ、福岡ダイエーホークス、オリックスブルーウェーブの5球団です。本年「がんばれ!阪神タイガース缶」は、過去最大の売上を記録する勢いです。阪神タイガースの地元・大阪道頓堀のアサヒスーパードライネオン看板をシーズン終了まで「がんばれ!阪神タイガース缶」に変更しています。



Q チューハイ「ハイリキ」ってどういう意味?

「ハイリキ」は、1983年(昭和58年)「ハイリッキー」という商品名で発売されました。「リッキー」は酒税上の分類である「リキュール」からの造語です。おかげさまで8月1日で発売20周年を迎えました。これからも応援よろしくお祈りします。



Q アサヒビールが販売しているビール・発泡酒以外の国産商品はどこがっくっているの?

下表のようにグループ各社が製造しています。

カテゴリー	製造会社
国産ウイスキー	ニッカウヰスキー(株)
国産ワイン	アサヒビールワイナリー(株) サントネージュワイン(株) ニッカウヰスキー(株)
低アルコール飲料 (缶チューハイ、サワー) 焼酎	ニッカウヰスキー(株) アサヒ協和酒類製造(株) さつま司酒造(株)



アサヒビールの履歴書

アサヒビールの歴史を6回にわたって、皆様にお伝えします。

～第一話～ 創業者、鳥井駒吉の情熱



鳥井駒吉

製造元は有限責任大阪麦酒会社、これがアサヒビールの前身にあたります。創業者である鳥井駒吉(とりいこまきち)は、明治3年(1870年)に17歳で堺の銘酒「春駒」の家督を継いだ後、若きリーダーとして堺の酒造業界を近代化に導いた人物です。明治12年には堺酒造組合の初代組合長に就任、生産性向上や醸造技術改良に向けて次々と業界革新に取り組み、一方では大阪産業界の指導者たちと協力して阪堺鉄道(現在の南海鉄道)の敷設にも尽力しました。その駒吉が、ビール会社の設立に動き出したのは明治20年(1887年)のことでした。この頃、日本では輸入ビールの需要が急増しており、実業家や酒造業者が本組織を立ち上げ、事業の一環としてビール醸造を目



明治25年5月17日付の「大阪朝日新聞」に掲載された紙面一頁大の広告

波頭の彼方に昇る朝日、カタカナで大きく記された商標、遠く大阪湾を望む吹田村醸造所のパノラマ図——。豪快なデザインの新聞全面広告は大きな反響を呼びました。明治25年(1892年)初夏、「アサヒビール」の誕生が世に告げられたのです。指す動きが出てきました。しかし駒吉は、本腰を入れて取り組まねば本格的なビールは実現できないと考えました。というのも、当時、冒険的起業家たちが見よう見まねの技術で世に出していた数々の和製ビールは、品質面で輸入ビールに遠く及ばなかったのです。駒吉が目指したのは西洋の単なる物真似ではなく、日本人の嗜好に合った“本格的な純国産ビール”でした。駒吉の熱意は、外山脩造、松本重太郎ら関西財界の重鎮や同業の酒造家たちの心を動かし、一大プロジェクトが走り出します。組織形態を現在の株式会社にあたる合本会社にすることで資金力に万全を期すとともに、創業のもう一人の立役者、外山の尽力により本場ドイツから最新の製造技術を導入。途中、関西を直撃した不況にも屈することなく、明治24年(1891年)に「大阪麦酒会社」創立を果たしたのです。本当にうまいビールを提供したい——駒吉たちの思いとチャレンジ精神を今に受け継ぎ、アサヒビールは新たな挑戦を続けています。



有限責任大阪麦酒会社吹田村醸造所

アサヒビールグループ業績のご報告

当中間期の概要

- ビール・発泡酒における課税数量ベースでのシェアが39.3%と過去最高を達成し、2年連続で1位となりました。
- 飲料事業における当中間期の販売数量が増加し、利益も大幅に増加するなど、回復傾向を確実なものとすることができました。

当中間期の業績

売上高 6,396億5,000万円
(前年同期比0.9%増)

営業利益 216億1,400万円
(前年同期比20.2%減)

事業別の概況

酒類事業

売上高…… 4,797億5,800万円
(前年同期比0.4%減)

営業利益…… 212億6,900万円
(前年同期比26.5%減)

当中間期における市場全体のビール・発泡酒は、課税数量ベースで前年同期比7.7%減少いたしました。そのうち、ビールは前年同期比11.3%減と前年に引き続き大幅に減少し、成長を続けていた発泡酒も前年同期比2.0%減となりました。

個人消費の低迷や増税の影響など、酒類市場を取り巻く厳しい環境の中、当社はビール主力商品「アサヒスーパードライ」、発売3年目を迎えた発泡酒「アサヒ本生」のブランド力の一層の強化に努めました。また、新たな商品提案として、ビールでは「アサヒ穰三昧」を1月に発売、発泡酒では「アサヒスパークス」を2月に発売いたしました。結果、

当社のビール・発泡酒課税数量は前年同期比92.3%となり、同市場でのシェアは前年同期比0.1ポイントアップの39.3%と過去最高を達成いたしました。

国産ウイスキーでは、家庭用で「ブラックニッカクリアブレンド」、業務用で「竹鶴」の一層のブランド確立に努めました。輸入洋酒ではマキシウム社商品「レミーマルタン」や「コアントロー」「パッサア」を中心に積極的な取扱いの拡大を進めました。

低アルコール飲料では、「カクテルパートナー」が前



年同期比4.6倍、「アサヒ旬果搾り」が前年同期比1.9倍と大幅に販売数量を伸ばしました。

ワインでは国産の「サントネージュ酸化防止剤無添加有機ワイン」シリーズ、輸入では「バロン・フィリップ・ドゥ・ロスシルド」等が販売数量の増加に寄与しました。

以上のように、酒類事業での売上高は、ビール・発泡酒の減少を他のカテゴリーでほぼ補いましたが、営業利益は新商品等の積極的な販売促進費の増加などにより、前年同期比で減少いたしました。

飲料事業

売上高…… 912億7,200万円
(前年同期比6.0%増)

営業利益…… 2,800万円
(前年同期比25億9,600万円増)

飲料事業では、アサヒ飲料(株)が前期までの売上の減少傾向に歯止めをかけるために、基幹ブランドに経営資源を集中しつつ、ユニークなコンセプトにより、既存商品との差別化を図る新しい成長戦略を展開してまいりました。特に昨年の発売以来好調な「ワンダ モーニングショット」を中心に缶コーヒーを拡大しつつ、「十六茶」の全面リニュー



アルと「三ツ矢サイダー」の販売促進に注力した結果、当中間期の販売数量は前年同期比4.9%増加し、回復傾向を確実なものとすることができました。

食品・薬品事業

売上高…… 104億4,700万円
(前年同期比62.6%増)

営業損失…… 2億3,700万円
(前年同期比4,400万円減)

食品・薬品事業では、1月にアサヒフードアンドヘルスケア(株)がポーラフーズ(株)を統合し、商品開発力・販売網を強化するとともに、「アクティオ」を中心とするサプリメントのラインアップも充実させ、セルフメディケーション事業への取り組みを一層強化いたしました。その結果、売上高は大幅に増加し、営業損失が改善されました。



その他事業

売上高…… 581億7,200万円
(前年同期比3.0%減)

営業利益…… 6億7,600万円
(前年同期比27.7%減)

その他事業では、物流事業が順調に売上高を伸ばしました。しかし、4月に(株)アサヒビールパックスを売却したことにより、全体の売上高は減少いたしました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (6月30日現在)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
資産の部			
流動資産		387,885	420,145
現金及び預金		11,493	17,328
受取手形及び売掛金		240,173	254,933
棚卸資産		104,606	112,610
繰延税金資産		3,895	4,690
その他		35,673	36,249
貸倒引当金		△ 7,956	△ 5,667
固定資産		882,464	904,968
有形固定資産		716,169	735,232
建物及び構築物		234,798	244,670
機械装置及び運搬具		209,290	219,266
工具器具備品		53,954	55,792
土地		214,953	209,538
建設仮勘定		3,172	5,965
無形固定資産		17,411	11,911
投資等		148,883	157,824
投資有価証券		74,182	81,872
繰延税金資産		46,810	43,936
その他		48,434	55,408
貸倒引当金		△ 20,544	△ 23,393
資産合計		1,270,349	1,325,114

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
負債の部			
流動負債		537,951	644,813
支払手形及び買掛金		73,399	90,954
短期借入金		99,069	135,993
1年以内償還社債		25,451	18,418
未払酒税		145,279	149,467
預り金		72,013	72,974
コマーシャルペーパー		21,500	60,000
その他		101,238	117,005
固定負債		329,554	271,968
社債		197,550	163,490
長期借入金		58,661	30,536
退職給付引当金		30,507	34,013
繰延税金負債		282	48
その他		42,551	43,879
負債合計		867,505	916,782
少数株主持分			
少数株主持分		16,467	17,219
資本の部			
資本金		182,531	182,531
資本剰余金		181,282	180,894
利益剰余金		38,800	28,389
その他有価証券評価差額		799	△ 874
為替換算調整勘定		969	878
自己株式		△ 18,006	△ 705
資本合計		386,376	391,112
負債・少数株主持分及び資本合計		1,270,349	1,325,114

Point ① 金融機関の持合解消に伴う当社株式放出に対応し、自己株式の取得を行いました。

連結損益計算書 (1月1日～6月30日)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
売上高		639,650	634,063
売上原価		436,959	437,345
売上総利益		202,691	196,718
販売費及び一般管理費		181,076	169,619
営業利益		21,614	27,099
営業外収益		2,799	3,957
受取利息及び配当金		1,120	1,172
持分法による投資利益		—	425
連結調整勘定償却額		825	820
その他		854	1,540
営業外費用		5,710	7,657
支払利息		2,623	3,201
持分法による投資損失		47	—
その他		3,039	4,456
経常利益		18,703	23,399
特別利益		741	425
固定資産売却益		238	202
その他		502	223
特別損失		7,113	7,032
固定資産売却除却損		873	5,341
事業整理損失		4,287	—
その他		1,953	1,691
税金等調整前中間純利益		12,331	16,792
法人税、住民税及び事業税		5,373	7,363
少数株主損益		△ 1,295	△ 1,290
中間純利益		8,252	10,719

Point ② 当社子会社であった(株)アサヒビールパックスを売却したことにより、事業整理損失を計上しております。

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュフロー計算書 (1月1日～6月30日) (単位:百万円)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
I 営業活動によるキャッシュフロー			
税金等調整前中間純利益		12,331	16,792
減価償却費		26,085	25,456
退職給付引当金の増減額		△ 1,413	△ 1,275
貸倒引当金の増減額		△ 992	3,538
固定資産売却除却損		873	5,341
未払酒税の増減額		2,908	6,545
その他		8,935	△ 7,459
小計		48,728	48,939
利息及び配当金の受取額		1,163	1,423
利息の支払額		△ 2,969	△ 3,791
法人税等の支払額		△ 12,029	△ 19,613
営業活動によるキャッシュフロー		34,892	26,958
II 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出		△ 23,046	△ 27,648
投資有価証券の売却による収入		141	12,536
その他		3,483	△ 481
投資活動によるキャッシュフロー		△ 19,421	△ 15,593
III 財務活動によるキャッシュフロー			
短期借入金の増減額		△ 1,246	50,075
長期借入金の増減額		△ 3,940	△ 6,639
社債の発行による収入		10,000	—
社債の償還による支出		△ 10,000	△ 53,381
自己株式の取得による支出		△ 8,675	△ 107
配当金の支払額		△ 6,535	△ 3,591
その他		205	29
財務活動によるキャッシュフロー		△ 20,193	△ 13,614
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額			
V 現金及び現金同等物の増減額		△ 4,747	△ 2,717
VI 現金及び現金同等物の期首残高		15,986	19,351
VII 連結範囲の変更による現金及び現金同等物の増減額		△ 68	612
VIII 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額		12	—
IX 現金及び現金同等物の期末残高		11,183	17,247

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸借対照表 (6月30日現在)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
資産の部			
流動資産		304,658	336,497
現金及び預金		3,142	3,718
受取手形及び売掛金		194,831	203,899
棚卸資産		49,227	58,579
短期貸付金		46,173	55,048
繰延税金資産		2,872	3,300
その他		14,942	16,130
貸倒引当金		△ 6,531	△ 4,180
固定資産		788,405	800,937
有形固定資産		550,766	562,224
建物		159,386	164,019
機械及び装置		175,628	180,680
土地		136,285	134,143
その他		79,466	83,380
無形固定資産		12,964	7,741
投資等		224,675	230,971
投資有価証券		52,393	60,414
子会社株式・出資金		73,555	73,065
繰延税金資産		31,016	26,772
その他		88,054	94,036
貸倒引当金		△ 20,345	△ 23,318
資産合計		1,093,064	1,137,434

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
負債の部			
流動負債		432,736	528,608
支払手形及び買掛金		42,624	50,639
短期借入金		65,508	103,500
1年以内償還予定社債		25,451	18,418
未払酒税		134,816	145,456
預り金		81,833	75,180
コマーシャルペーパー		21,500	60,000
その他		61,003	75,413
固定負債		282,171	217,973
社債		189,997	155,448
長期借入金		42,500	10,000
長期未払金		734	600
長期預り金		34,696	34,360
退職給付引当金		13,877	17,565
役員退職慰労引当金		366	—
負債合計		714,907	746,582
資本の部			
資本金		182,531	182,531
資本剰余金		190,291	189,903
資本準備金		130,292	129,903
その他資本剰余金		59,998	60,000
利益剰余金		22,667	20,117
固定資産圧縮積立金		2,744	2,951
別途積立金		10,000	—
中間未処分利益		9,922	17,165
(うち中間純利益)		(5,848)	(7,281)
株式等評価差額金		673	△ 994
自己株式		△ 18,006	△ 705
資本合計		378,156	390,851
負債及び資本合計		1,093,064	1,137,434

Point ③ 株主資本の充実を図るため、平成14年度未処分利益の中から積立を行いました。

損益計算書 (1月1日～6月30日)

科目	期別	平成15年度	平成14年度
売上高		500,078	499,880
売上原価		364,333	363,499
売上総利益		135,745	136,380
販売費及び一般管理費		113,993	107,728
営業利益		21,752	28,652
営業外収益		1,882	1,920
受取利息及び配当金		1,559	1,508
雑収入		323	412
営業外費用		3,666	7,413
支払利息		1,977	2,304
雑損失		1,689	5,108
経常利益		19,968	23,159
特別利益		730	93
固定資産売却益		227	0
投資有価証券売却益		37	92
貸倒引当金戻入益		465	—
特別損失		6,665	11,222
固定資産売却除却損		592	5,022
投資有価証券売却損		10	403
投資有価証券評価損		1,193	473
事業整理損失		4,287	—
子会社株式評価損		—	5,305
過年度役員退職慰労引当金繰入額		581	—
役員退職慰労金		—	18
税引前中間純利益		14,033	12,029
法人税、住民税及び事業税		8,184	4,748
中間純利益		5,848	7,281
前期繰越利益		4,073	1,197
利益準備金取崩額		—	8,687
中間未処分利益		9,922	17,165

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

株主メモ

決算期

12月31日

定時株主総会

3月中

配当金

利益配当金は毎決算期の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主、実質株主又は質権者に支払う。中間配当金は毎年6月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主、実質株主又は質権者に支払うことができる。

1単元の株式の数

100株

証券コード

2502

名義書換/取扱所 (名義書換代理人)

〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社証券代行部
TEL 03-5683-5111 (大代表)

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。
TEL (通話料無料) 0120-24-4479 (本店証券代行部)
URL <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

同取次所

UFJ信託銀行株式会社各支店
野村證券株式会社本店及び各支店

公告掲載新聞

東京都において発行する日本経済新聞

会社概要 (平成15年6月30日現在)

商号 アサヒビール株式会社
(ASAHI BREWERIES, LTD.)

設立 昭和24年9月1日

資本金 182,531,194,085円

従業員数 3,964名(378名)

※従業員数は就業人員であり、当社への出向者(289名)を含み、関係会社への出向者を除いています。なお、臨時従業員数は()内に期中平均人員を外数で記載しています。

会計監査人

朝日監査法人(東京都新宿区津久戸町1番2号)

役員 (平成15年6月30日現在)

代表取締役会長 …… 福地 茂雄

代表取締役社長 …… 池田 弘一

代表取締役副社長 …… 旭 興一 西川 菅雄

専務取締役 …… 小倉 貞男

常務取締役 …… 岡田 正昭 大原 清明

取締役 …… 泉谷 直木 山口 信夫 岡本 行夫
野中 ともよ

常勤監査役 …… 佐藤 明 藤田 博 原田 利夫

監査役 …… 櫻井 孝穎 中村 直人

【執行役員】

専務執行役員 …… 坂本 純一 築山 知明

常務執行役員 …… 中村 豊 尾関 正彦 秋元 延介
後藤 義弘 藏口 勝 高橋 正哲
大澤 正彦 反町 直之 西野 伊史

執行役員 …… 本山 和夫 二宮 裕次 玉田 忠志
川村 光 富永 寿郎 石橋 英行
二宮 襄 江藤 正和 浅野 舜三
岩崎 次弥 佐々木 修 吉岡 信一
松延 章 高橋 成公 三谷 昌
名倉 伸郎 石井 敏史 三宅 雅人
亀野 正徳 山崎 史雄 富田 義人
羽田 茂 山下 弘

株式の状況 (平成15年6月30日現在)

発行済株式総数 513,585,862株

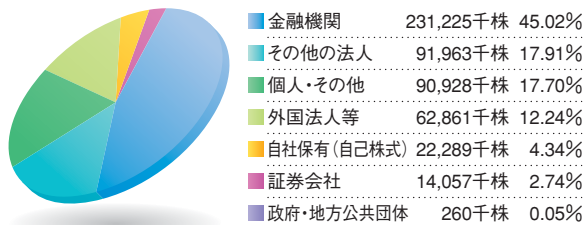
当中間期末株主数 69,600名(前期末比2,175名増)

大株主(上位10名)

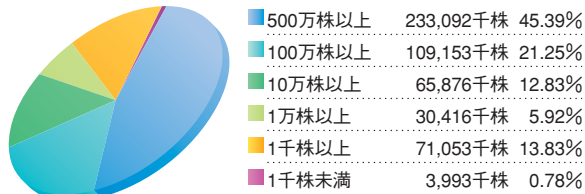
株主名	持株数 (千株)	議決権 比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,995	5.4
第一生命保険相互会社	22,920	4.7
旭化成株式会社	22,285	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	21,407	4.4
富国生命保険相互会社	16,883	3.5
株式会社三井住友銀行	15,897	3.3
株式会社みずほコーポレート銀行	11,458	2.4
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	9,823	2.0
野村證券株式会社	9,768	2.0
住友生命保険相互会社	9,290	1.9
合計	165,726	34.2

(注)当社は自己株式を22,289千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

所有者別株式分布



所有株式数別株式分布



キャンペーン&イベント情報

皆様のご応募・ご参加をお待ちしております

【キャンペーン】

9月上旬～10月中旬製造の **野球日本代表モデル!**
「アサヒ本生」、「アサヒ **グラウンドコート**を当てよう!
本生 アクアブルー」の6缶パックをお買い求めのうえ、パックに印刷された専用応募ハガキでご応募ください。
詳しくは店頭またはお客様相談室へ ▶ ☎0120-011121

【アートノヴァ ～ダンスパフォーマンス～】

アートノヴァ ～ダンスwithスペース～(仮タイトル)が10月17日(金)19:00から、東京・吾妻橋アサヒビール本部ビル隣の「スーパードライホール」4階・スクエアAで開催されます。若手インテリアデザイナーの作品が作り出す空間に3人のダンサーが挑む、必見の異業種コラボレーションです。
詳しくはこちらへ ▶ ハイウッド 電話:03-3320-7217

C.A.N. 電話:03-5457-3163

アートノヴァは12月12日にも開催予定です。

【環境文化講座】

10月～12月に「水と森」をテーマにしたアサヒビール環境文化講座を開催します。
第1回は10月2日(木)開催。講師は富山和子氏(立正大学教授・日本福祉大学客員教授)です。場所はアサヒビール本部ビル隣の「スーパードライホール」4階・スクエアA。
詳しくはこちらへ ▶ アサヒビール(株)環境社会貢献部
電話:03-5608-5195

【ロビーコンサート】

12月9日にアサヒビール本部ビル1階ロビーでロビーコンサートが開催されます。
詳しくはこちらへ ▶ アサヒビール(株)環境社会貢献部 電話:03-5608-5195
11月25日に福岡市「ももちパレス」でもロビーコンサートを開催します。



アンケートの集計結果

第79期事業報告書にて実施いたしました株主様アンケートの集計結果をご報告します。
今回も多くの方に回答をいただきました。本当にありがとうございました。

当社のどのような点を評価されていますか? (複数選択)

1 商品開発力	60.1%
2 経営戦略	38.1%
3 販売戦略	34.4%
4 技術力	24.9%
5 広報・宣伝活動	23.1%
6 環境・社会貢献活動	11.9%
7 財務戦略	7.1%
8 その他	1.6%

企業情報の収集に何を利用されていますか? (複数選択)

1 新聞・雑誌	74.3%
2 会社案内・事業報告書などの企業の発行物	28.0%
3 証券会社	20.8%
4 インターネット	17.9%
5 専門誌	13.8%
6 企業のホームページ	5.3%
7 その他	3.7%

編集スタッフより

編集コンセプトを新しくしました。

今回の中間事業報告書から、編集方針を一新しました。
コンセプトは、「アサヒビールのさまざまな活動を紹介し、企業としての取り組みをご理解いただく情報誌」です。
今後の編集の参考にさせていただきますので、同封のハガキにて率直なご意見やご感想などをぜひお聞かせください。



I N F O R M A T I O N

株主の皆様へお知らせ

単元株式数を変更しました

当社は、株式の流通の活性化、および個人株主を中心とする投資者層の拡大を図るため、平成15年9月1日をもって1単元の株式数を1,000株から100株に変更しました。これにより、当社の株式は証券取引所において100株単位で売買可能となりました。なお、単元未満株式の買取請求は100株未満の株式が対象となります。

株主優待制度を新設します

株主の皆様のご支援にお応えするとともに、株主優待を通じて、個人を中心とする投資者層の拡大を図り、より多くの方に当社を一層ご理解・ご支援いただくことを目的に株主優待制度を新設します。

- (1) 対象株主** 毎年12月31日現在の株主名簿、および実質株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様
- (2) 優待内容** ①100~1,000株未満保有株主様…… 1,000円相当の優待品
②1,000株以上保有株主様…………… 2,500円相当の優待品
(①②共に、アサヒビールオリジナル製品など複数の中から、ひとつお選びいただけます。)
※贈呈時期:毎年5~6月の贈呈を予定しております。
- (3) 実施開始時期** 平成15年12月31日現在の株主名簿、および実質株主名簿に記載された株主様から実施いたします。
※優待内容の詳細は、来年3月にご案内いたします。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



生分解性に優れたアロマフリー型再製大豆油インキで印刷しています。



印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷方式」で印刷しています。